

取締役 CTO 服部正平博士がテレビ出演

2025年4月10日（木）



当社、株式会社 Smart Gut 取締役 CTO 服部正平博士（東京大学名誉教授）がテレビ出演をしました。

服部正平博士は、ヒトの 21 番の染色体の全解読に貢献した日本を代表する生命情報科学者で、その後、この DNA 解析技術を活かし、ヒトに共生している微生物（マイクロバイーム）研究を長年続けている日本を代表する研究者です。現在、当社がアカデミア(大学や公的研究機関)を対象にサービスを提供している細菌叢解析事業・統括責任者を務めています。

出演番組内では、健康を左右する「腸内細菌」をテーマに、インタビュアーである加藤浩次さん、古旗笑佳さんと楽しくお話をしています。是非ご覧ください。

出演番組：

BS テレ東の番組「いまからサイエンス」（4月9日（水）22時放映）

視聴方法：

以下の TVer でご覧いただけます。

<https://tver.jp/episodes/epitcz2g14>

放映時間：

44分

プロフィール：

服部正平博士（マイクロバイーム研究・科学者）

東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター（助教授）、理化学研究所ゲノム科学総合研究センター（チームリーダー）、北里大学北里生命科学研究所（教授）、東京大学新領域創成科学研究科（教授、現名誉教授）、早稲田大学理工学術院（教授、現招聘研究員）、理化学研究所生命医科学研究センター（チームリーダー）などを経て、株式会社 Smart Gut 取締役 CTO に就任。国際ヒトマイクロバイームコンソーシアム(IHMC)2022(第9回 IHMC 国際会議主催)(組織委員長)などを兼務。研究分野はゲノム科学(ヒトゲノム、微生物ゲノム、ヒトマイクロバイーム研究)。2020年から5年間連続で“後続の研究に大きな影響を与える科学者”として Clarivate 社の"Highly Cited Researchers"（高被引用論文著者）に選出された。



マイクロバイーム研究：

マイクロバイーム研究とは、生物や環境に存在する微生物叢（細菌叢）のゲノム(遺伝子情報)解析などを通じて、特に微生物叢と疾患との関係や、宿主への生理作用などを解明しようという研究です。

2006年ワシントン大学のジェフリー・ゴードン博士らは、腸内微生物叢（腸内フローラ）が肥満の原因であることを発見しました。この発見を機に、治療や予防をターゲットとしたマイクロバイーム研究が世界各地で盛んに行われるようになりました。

腸内微生物叢は人間の免疫システムに密接に関わっており、微生物叢のバランスの乱れが、様々な疾患の要因であることも判明してきています。

ノーベル医学・生理学賞の受賞者で、分子生物学者のジョシュア・レダーバーク博士は、「我々人間は、ヒトと常在菌が高度に絡

み合った“超生命体”として考えるべき」と述べています。私たち一人ひとは、生物の共同体であり、共に協調して生きている生態系なのです。

当社メディア：

当社では最新の腸内細菌研究成果を YouTube オナカの子カラチャンネルで配信しています。

視聴方法：

URL：<https://www.youtube.com/@onakanochikara>



会社概要：



株式会社 Smart Gut

ガット・マイクロバイオーム（腸内細菌叢）で人々の QOL の向上に貢献する

当社は、2020 年より内閣府 官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）に参画し、大学と発酵性食物繊維（ルミナコイド）とマイクロバイオーム（細菌叢）に関する共同研究を続けています。

また、長年マイクロバイオーム（細菌叢）研究の課題であった「細菌叢 DNA 抽出方法」の最適化に成功し、この技術を使用し、2024 年 7 月よりアカデミア（大学や公的研究機関における研究職）を対象としたサービスの提供を開始。従来よりも実際の細菌叢構造を忠実に反映した細菌叢 DNA 解析（菌種・遺伝子組成など）の実現をサポートすることで、医療やライフサイエンスの発展に貢献しています。

商号：株式会社 Smart Gut（カブシキガイシャ スマートガット）

本店：東京都千代田区九段南1丁目5番6号 りそな九段ビル5階

事業：細菌叢解析事業 / ルミナコイド事業

会社ホームページ：<https://www.smart-gut.com/>

Lulumilk公式サイト：<https://www.lulumilk.com>